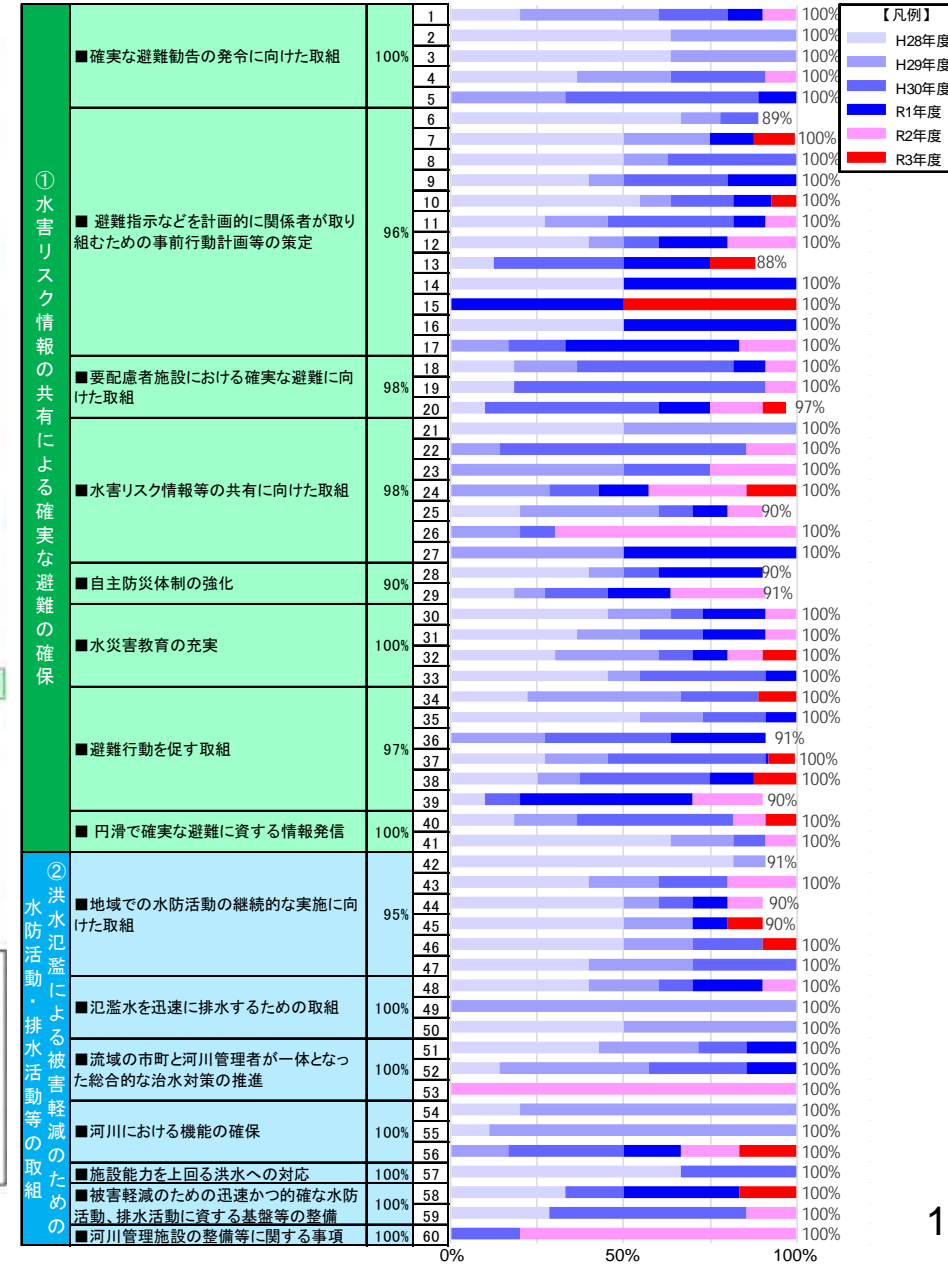
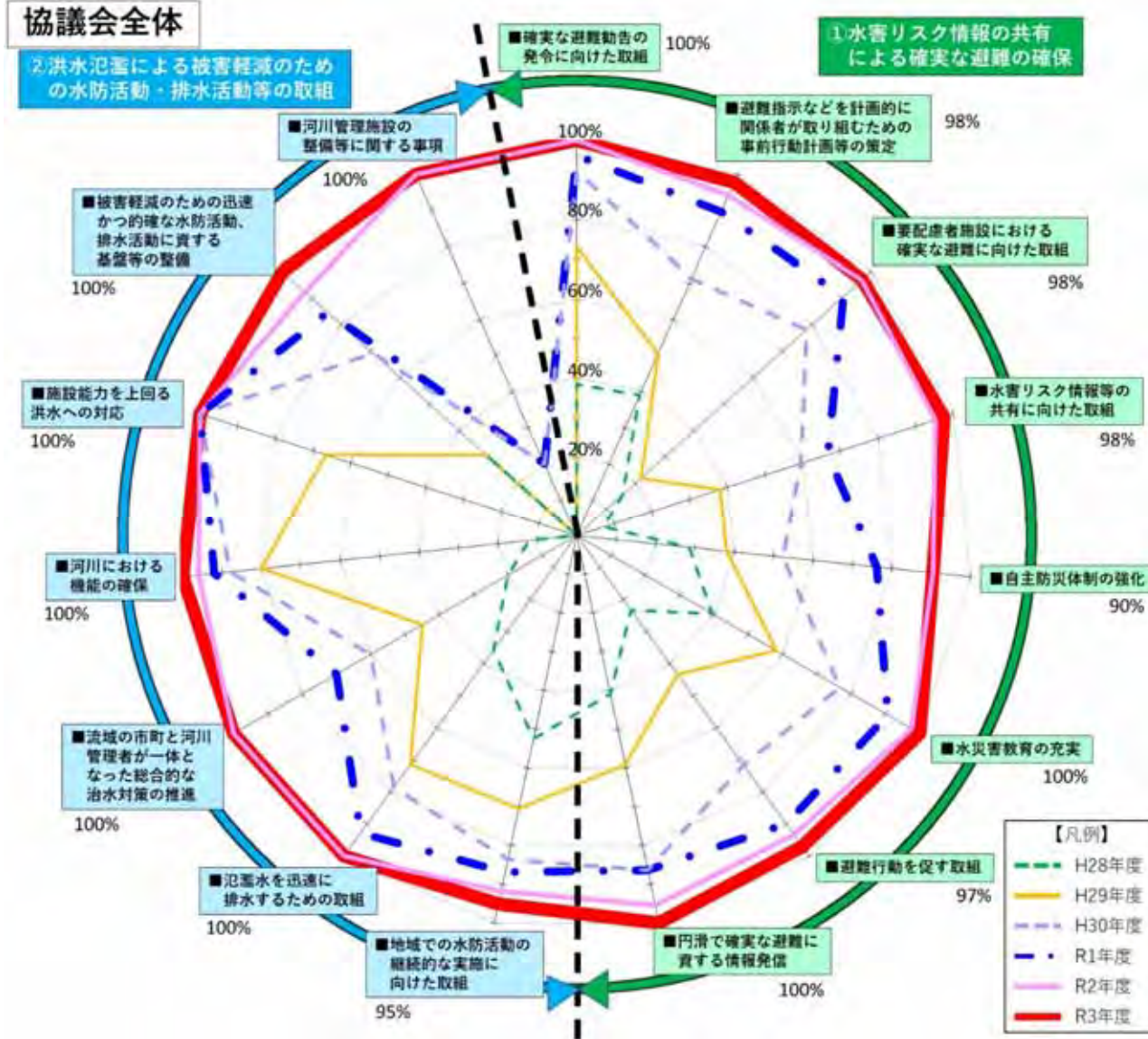


過去5か年取組総括 (平成28年度～令和3年度)

平成28年度～令和3年度 取組進捗状況(協議会全体:取組別)

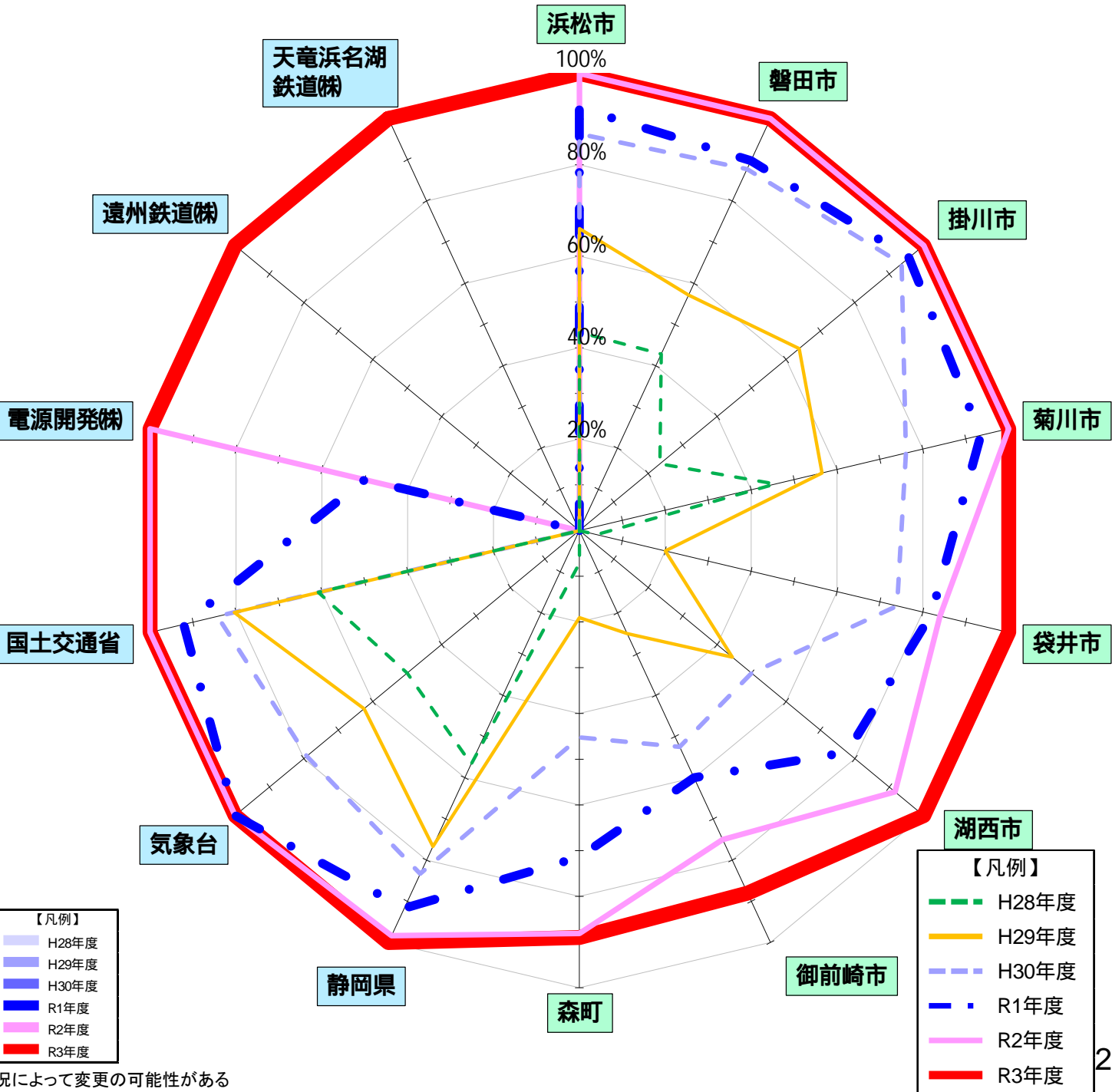
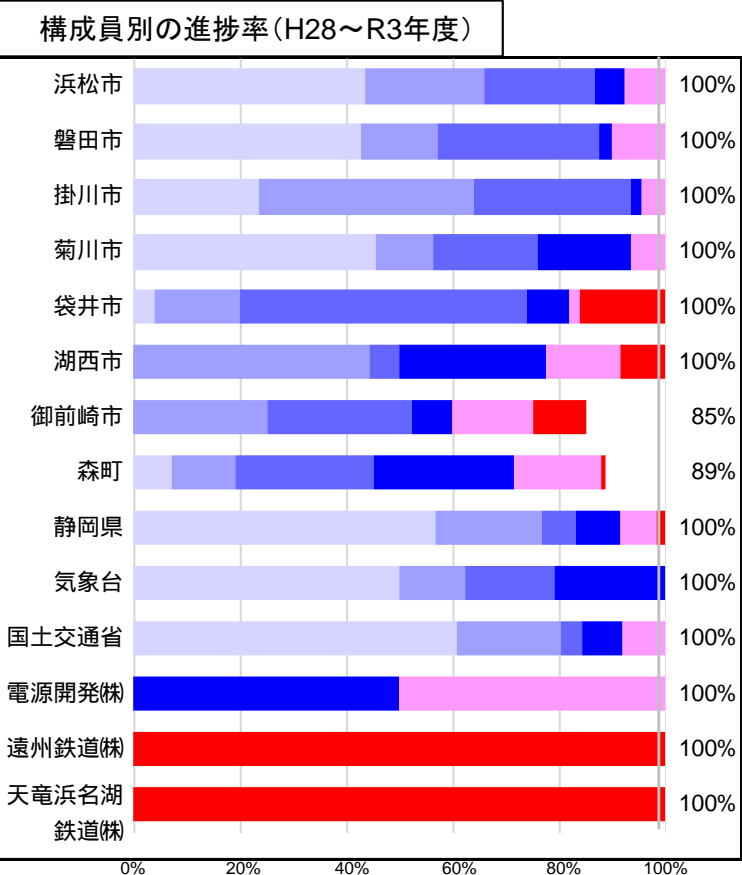
「①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保」、「②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組」とともに、概ね9割以上が取組実施中であり、取組着手から確実に進展している。



R3年度末時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

平成28年度～令和3年度 取組進捗状況(協議会全体:構成員別)

- 協議会全体の進捗状況は平均で約98%である。
- 天竜川・菊川に係る自治体以外(御前崎市・森町)は、一部未実施の取組が残されている。(主に、水位周知河川の指定が令和2年以降進行中で、取組内容検討中のため)



R3年度末時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

平成28年度～令和3年度の主な取組

水災害教育の充実

市町の小中学校で行われている**防災教育授業の実施支援や出前講座、研修会等**を実施。

地域防災リーダー養成研修会



出典：浜松市

WEBを活用した出前講座



出典：浜松河川国道事務所

自主防災組織等への出前講座



出典：森町

学校向けワークショップ



出典：気象庁

雨量や水位等の情報提供

河川水位・雨量等の情報収集をするため、**水位観測所、雨量観測所、河川監視カメラ**を設置。水防法の指定河川では、規定に基づき**洪水予報や氾濫危険水位（洪水特別警戒水位）**の情報を提供。

県の河川Webカメラの映像を市と共有

水位周知河川に指定されていない河川での河川監視カメラ（Webカメラ）



出典：浜松土木事務所



出典：袋井土木事務所

水害リスク情報の共有

水害のリスクを周知するため、**洪水ハザードマップ**を配布や説明会を実施し、住民の防災に対する意識の向上を図った。

防災ガイドブック

浸水想定区域図

洪水ハザードマップ説明会

洪水ハザードマップ



出典：掛川市



出典：袋井市

排水施設、排水資機材の操作・運用

排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備。また、排水計画に基づく、**排水訓練**を実施。

排水ポンプ車の設置・排水訓練



排水ポンプ車

出典：浜松河川国道事務所

排水ポンプ車の派遣による内水防除



出典：浜松河川国道事務所

河川防災ステーションの整備

菊川市と浜松河川国道事務所共同により、災害復旧資材の備蓄、情報の収集発信、災害復旧活動の拠点のための**河川防災ステーション**を整備。



菊川市長

出典：浜松河川国道事務所

洪水氾濫による被害軽減の取組

流下能力を保全するため、**河道内の堆積土砂の除去や河道内樹木の伐採**や、施設能力を上回る洪水への対応として**堤防天端や法尻の補強**を実施。

天竜川右岸18.2k付近 樹木伐採



伐採前

伐採後

堤防裏法尻をブロック等で補強



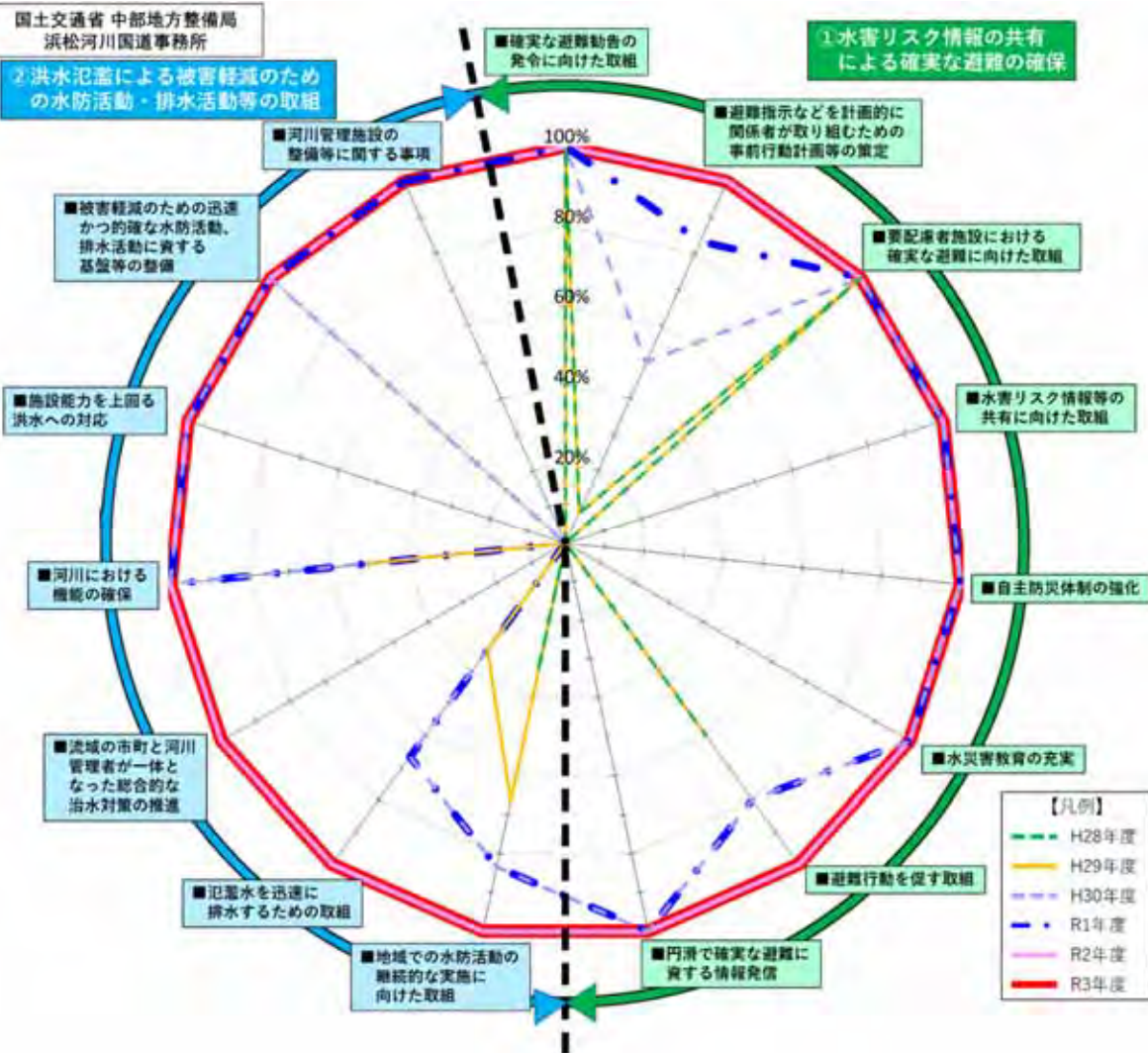
出典：浜松河川国道事務所

平成28年度～令和3年度 各構成員の主な取組

【浜松河川国道事務所】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は令和2年度時点で100%を達成し、令和3年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和3年度は、「出前講座によるマイ・タイムラインの推進」、「重要水防箇所への合同巡視」、「対応行動整理表に基づく勉強会実施」、「企業BCPの作成支援勉強会実施」等に取り組んでいる。
- 今後、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方を継続実施していく。

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性はある

●主な取組内容

○マイ・タイムラインの推進

中学校で、天竜川の洪水の歴史、ハザードマップの見方、マイ・タイムラインの作成について出前講座を実施。



出前講座の様子



出前講座で用いた資料

○水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催

洪水時の迅速な水防活動に資する情報を共有するため、自治体職員や消防団員、防災エキスパートと共に、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所（重要水防箇所）の合同巡視を実施。



磐田市重要水防箇所合同巡視(R3.4.15) 菊川市重要水防箇所合同巡視(R3.4.20)



○対応行動整理表によるタイムラインの拡充

国・県・掛川市・菊川市の参加による対応行動整理表に関する勉強会を、R3.8.25に開催。



勉強会の様子

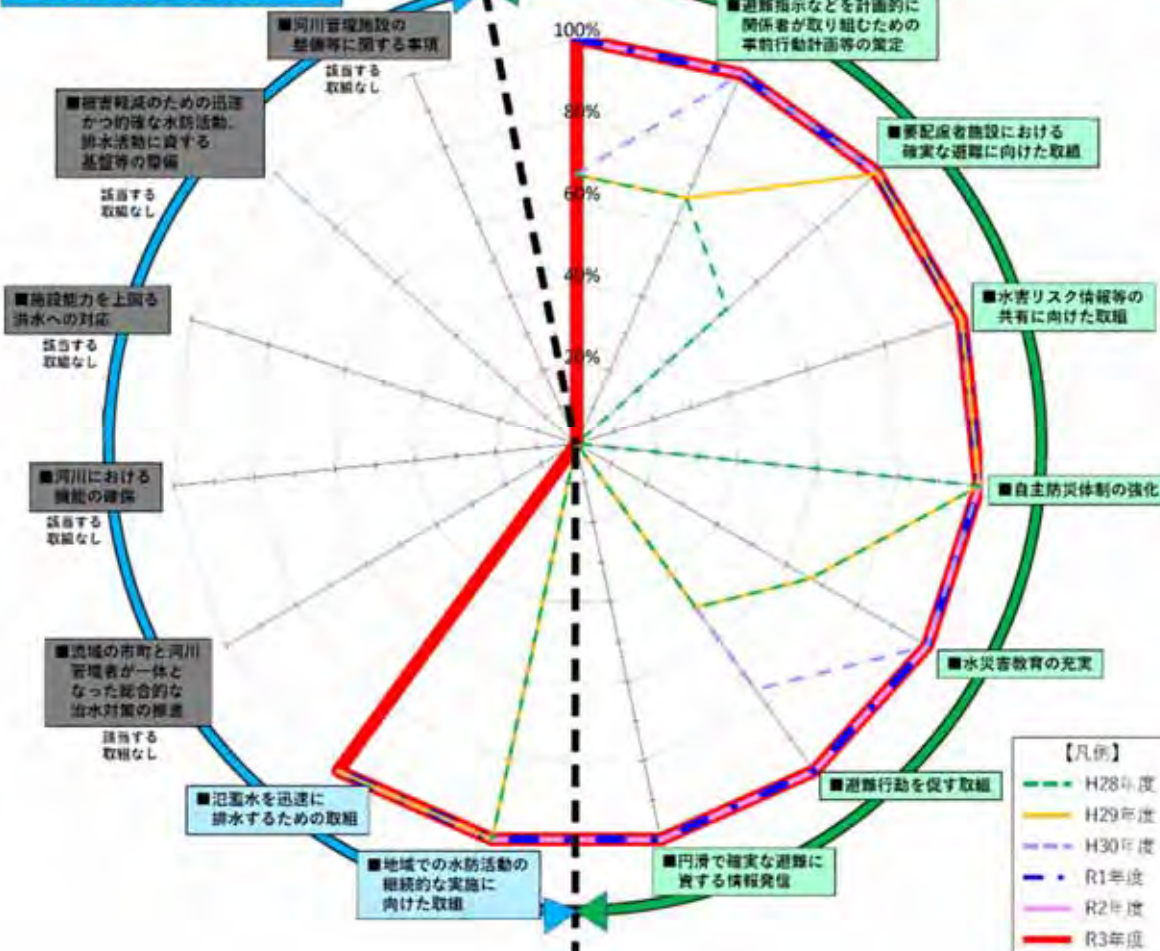
【静岡県 危機管理部】 取組報告 (H28～R3年度までの取組内容)

- 大規模氾濫における人的被害を軽減するため、避難意識の更なる向上が必要である。
- このため、「マイ・タイムライン」作成の推進とともに、より簡便で、様々な災害リスクに対応する「わたしの避難計画」により早期避難の意識醸成と災害時の避難行動の明確化を図る。
- 令和3年度は、県内モデル地区8箇所において、ワークショップを開催し、住民意見等を踏まえ、「わたしの避難計画」の雛形を作成している。

取組の進捗率

静岡県 危機管理部

2 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

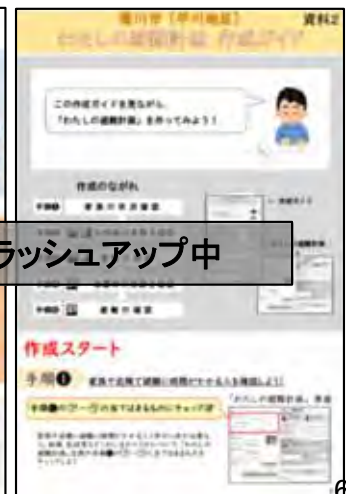
○マイタイムラインの推進(わたしの避難計画)

<菊川市平川地区WSの様子 11/12、12/20平川コミュニティ防災センター>



<わたしの避難計画>

<作成ガイド>



WSでの住民意見を踏まえ、現在ブラッシュアップ中

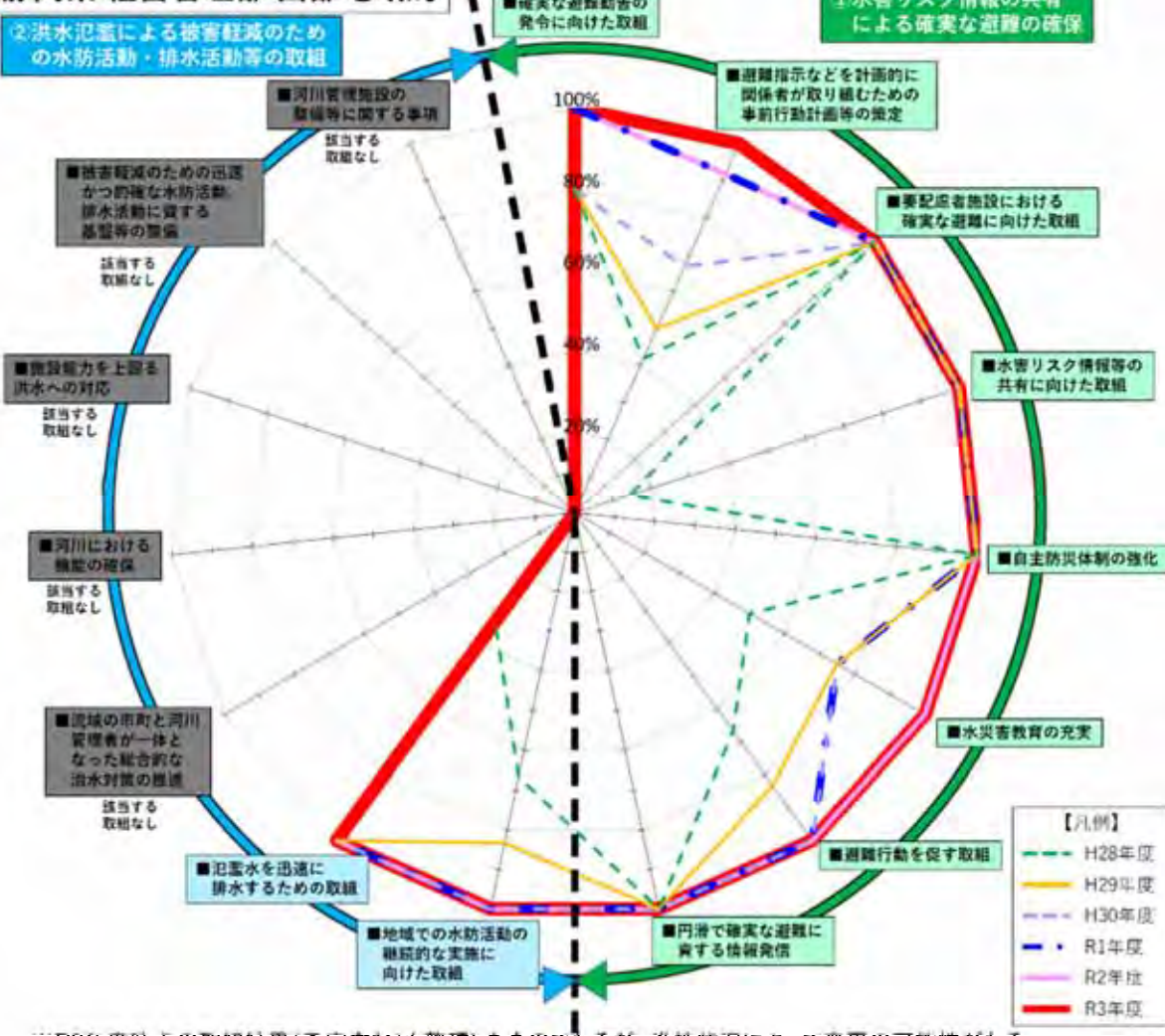
【静岡県 経営管理部 西部地域局】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

○今年度、避難勧告が廃止され、避難指示として避難情報が一本化され、市町における避難情報の発令にあたっては、収集した情報を的確に判断し、躊躇することなく避難情報を発令する必要があるため、管内防災担当職員の対処能力向上及び避難情報の周知を図ることを目的に気象防災ワークショップを開催した。

○「自らの命は自らが守る」意識を醸成し地域防災力を向上するため、学校等での防災教育に加え、自主防災組織や事業所を対象とした防災啓発・意見交換会等を開催し、「学校や地域、行政が連携した防災活動」を目指し、意識・知識の向上を図った。

取組の進捗率

静岡県 経営管理部 西部地域局



●主な取組内容

○気象防災ワークショップの開催(令和3年6月21日)

大雨による洪水や土砂災害が懸念される状況において、気象庁などから提供される気象情報等を適切に活用し、的確なタイミングで災害対策本部体制の強化や避難情報発令の判断がとれるよう、「気象防災ワークショッププログラム(気象庁作成)」を活用し、管内市町防災担当職員等を対象としたワークショップを、西部地域防災支援チーム(静岡地方気象台)の協力を得て開催した。



○防災教育(出前講座)の推進

県では、将来にわたり、地域防災力を向上させるため、次代の担い手となる子供達への防災啓発が重要であることから、次世代の防災リーダー育成のため、『ふじのくにジュニア防災士養成講座』を実施している。防災講話の他、地域の防災訓練への参加、防災演習(HUG・DIG等)、レポートの提出等、ジュニア防災士取得のために必要な講座を終えた児童生徒に対し、知事認定証を発行し、「静岡県ふじのくにジュニア防災士」としての自覚を促している。

※今年度実施した全ての出前講座が「ジュニア防災士養成講座」を対象としたものではない。



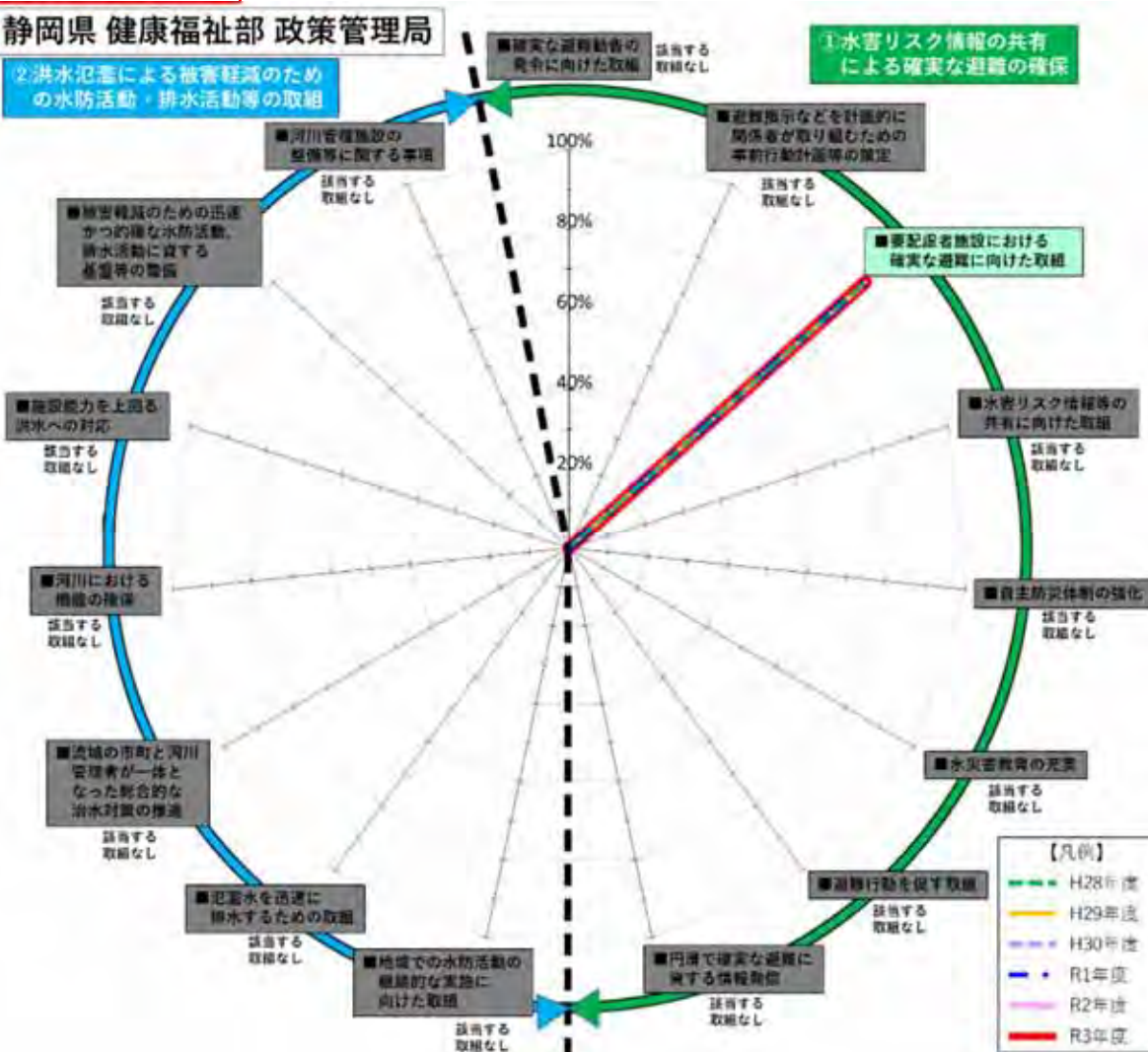
○自主防災組織活性化連絡会の開催(令和3年11月26日)

管内市町の地域防災力の強化を図るため、その中核となるべき自主防災組織の活性化方策等を協議する連絡会を開催し、「マイタイムライン(わたしの避難計画)の普及・啓発」「避難時におけるコロナ対応(対策)への課題」「総合防災アプリ『静岡県防災』の機能追加」等について情報提供をすると共に、各自主防災組織の取組みや、課題・問題等の情報共有、意見交換を行った。



- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく当課対象の取組は、令和3年度末時点で継続実施をしている。
- 令和3年度は、「施設管理者等への理解促進」、「避難確保計画の作成促進」に取り組んでいる。
- 引き続き、当課対象の取組を継続するとともに、関係機関と連携を図り、支援方を継続実施していく。

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

○WEBを活用した社会福祉施設等職員防災研修会の実施

施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、例年行っている施設職員向けの研修を動画で配信。

【研修内容】

要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等

○社会福祉法人等の指導監査

社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導。

○避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会

危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会を実施(オンライン)。

○浸水区域内要配慮者利用施設の支援

洪水浸水想定区域内に立地する社会福祉施設が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援。

水害リスク情報等の共有に向けた取組として、水防法指定河川以外の河川についても、洪水浸水想定区域図の作成を行っている。

水災害教育の充実に関する取組として、コロナ禍においても住民に豪雨災害に対する危機意識を持ち続けて頂くため、「事前に備える防災講座」をYouTubeの県公式チャンネルで発信している。

また、リスク情報の正しい理解等について、市町防災担当職員を対象とした研修会を開催予定である。

●主な取組内容

○洪水浸水想定区域図（洪水浸水が想定される範囲を示す図面）を作成

洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を促していく。
（新野川、二俣川、気田川、水窪川：R3.5公表）…水防法指定河川
（袋井土木管内50河川、浜松土木管内12河川：随時公表予定）



○コロナ禍における防災対策「事前に備える防災講座」

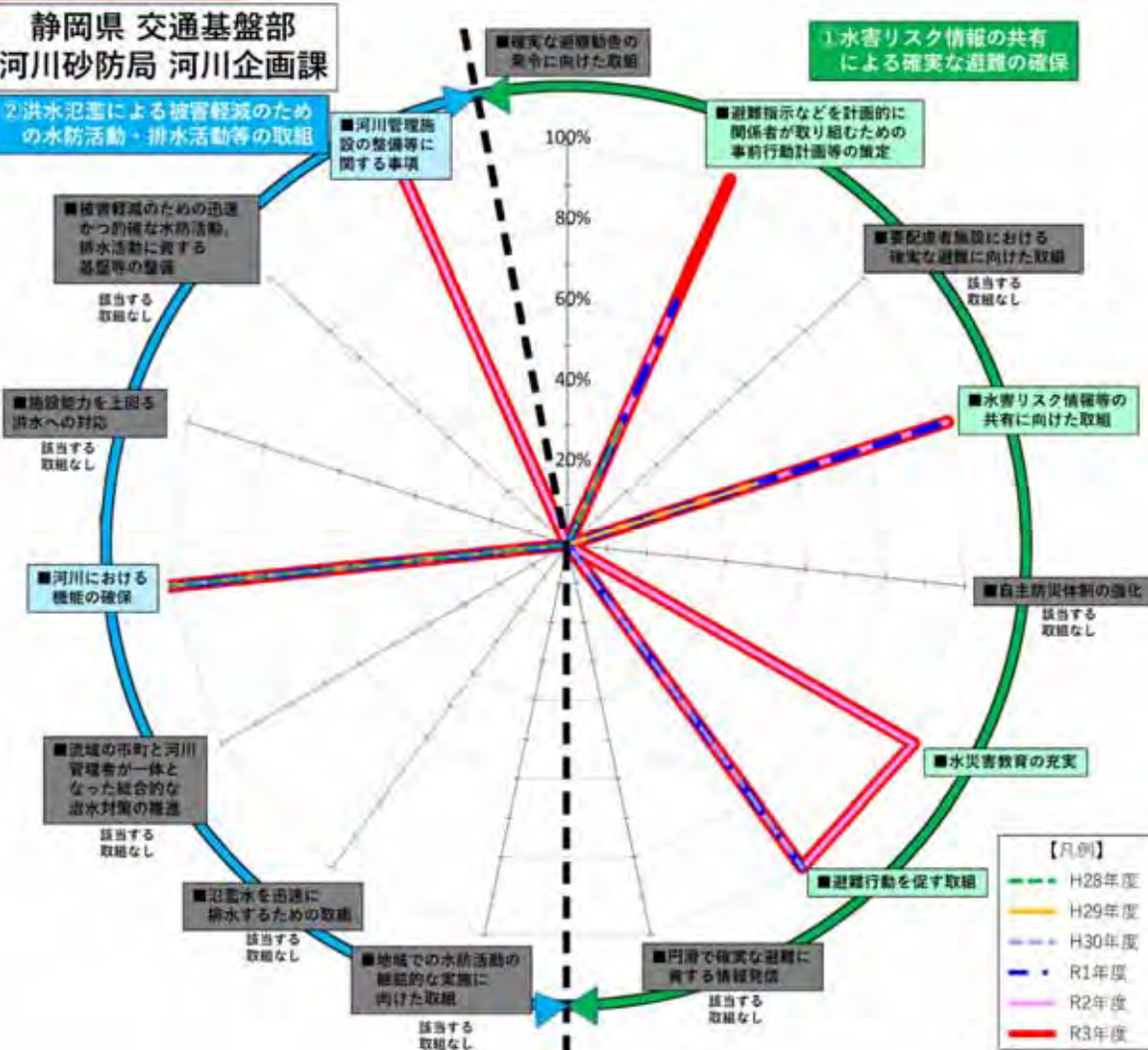
新型コロナウイルス禍においても、住民に豪雨災害に対する危機意識を持ち続けて頂くため、「事前に備える防災講座」を、YouTubeの県公式チャンネルで順次公表する予定。



○市町防災職員向けの研修会を開催

リスク情報の正しい理解、的確な警戒避難体制の整備につなげていくために、市町防災担当職員を対象とした研修会を開催。
（R4. 2開催予定）
「(仮)リスク情報の活用」
「(仮)水害ハザードマップ作成に関する最近の話題」

取組の進捗率



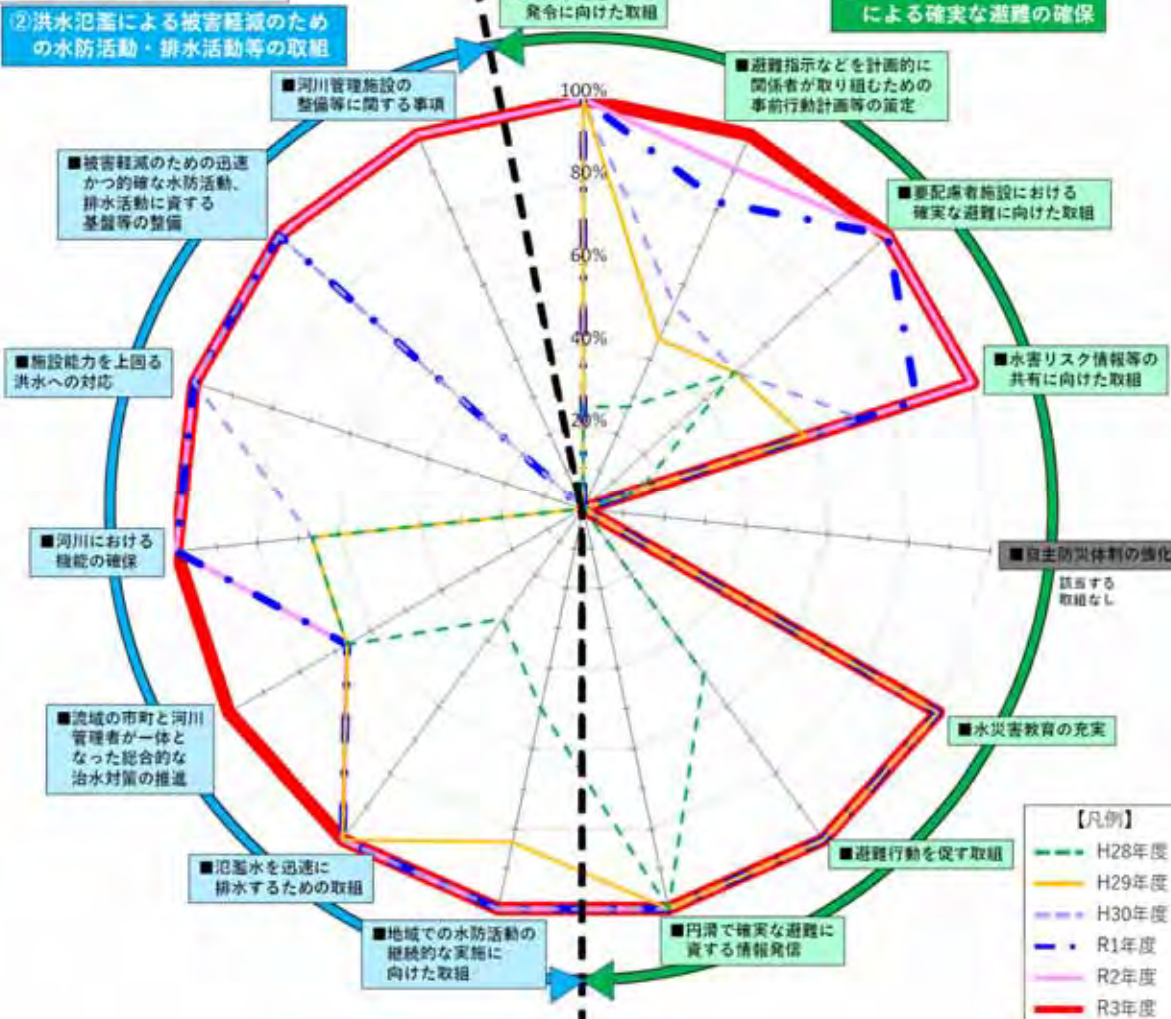
R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

【袋井土木事務所】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

○水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和3年度末時点で100%に達成した。
 ○引き続き、当協議会における避難や水防対策等の取り組みを継続するとともに、関係機関と連携を図り、支援方策を継続実施していく。
 ○また、当協議会における防災・減災における体制を維持し、より一層強固とするため、「流域治水プロジェクト」の取組内容と連携を図っていく。

取組の進捗率

袋井土木事務所



R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性はある

●主な取組内容

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成

【実施内容】

- ・二級河川新野川を水位周知河川に指定
- ・「新野川洪水浸水想定区域図」を公表

新野川水系新野川洪水浸水想定区域図 (R3.5.11公表)



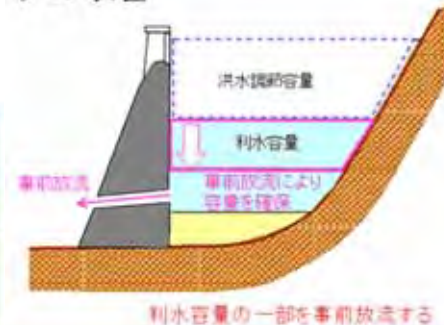
○避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定

- 住民の避難行動につながるダム放流情報の改善や通知タイミングの改善

【実施内容】

- ・太田川ダムの事前放流運用に伴う操作細則を改定

太田川ダム



○水災害教育の充実

- 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築

【実施内容】

- ・今井小学校(袋井市)を対象に、水害に関する防災出前講座を実施

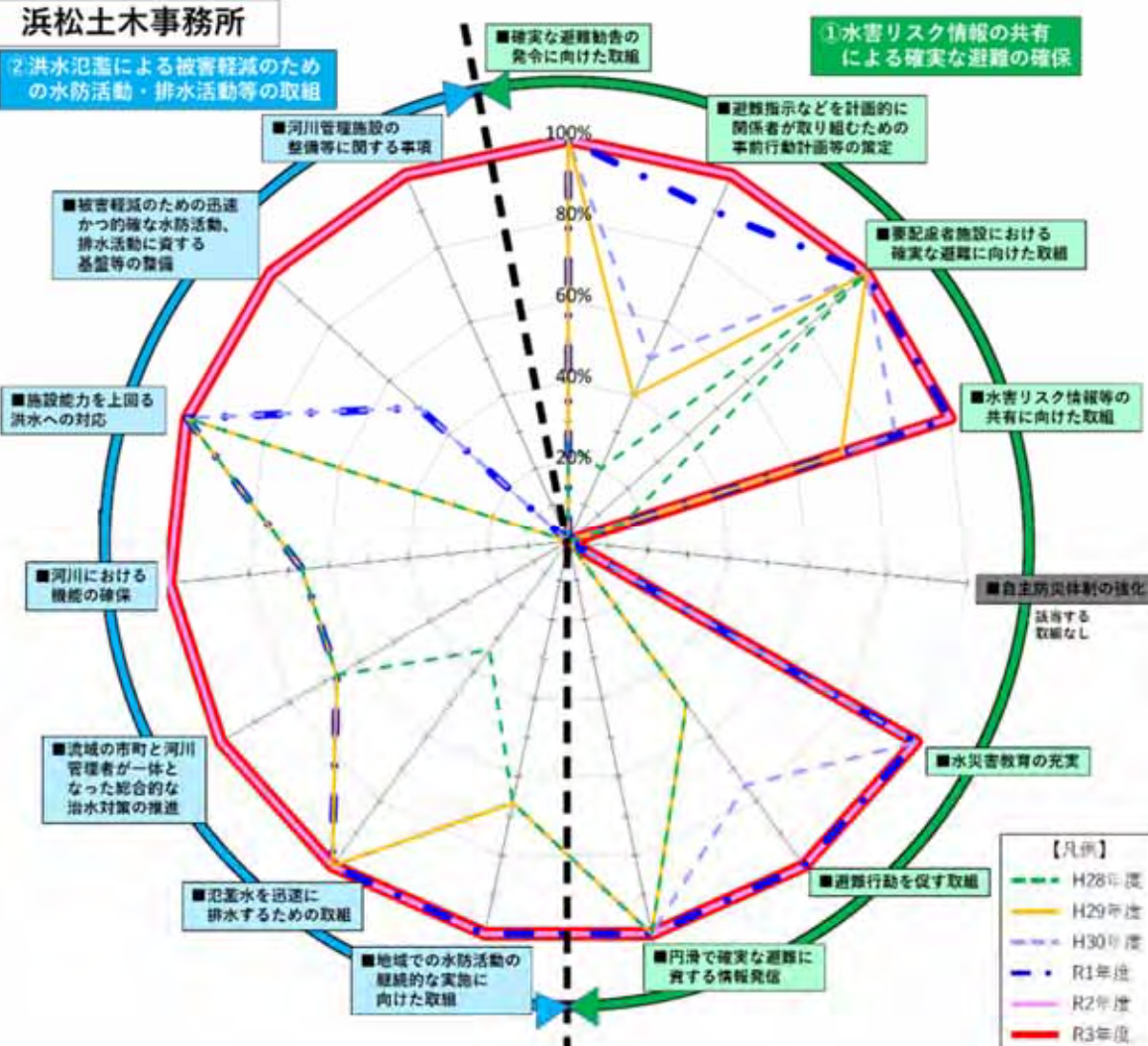


今井小学校_出前講座開催状況 (R3.6.7) 11

【浜松土木事務所】 取組報告 (H28～R3年度までの取組内容)

- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和2年度時点で100%に達成し、令和3年度時点で体制を維持し、取組実施している。
- 令和3年度は、「出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実」「雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供」等に取り組んでいる。
- 今後、関係機関と連携を図り、住民避難にかかる支援方策を継続実施していくとともに、管理河川破堤時の対応訓練を強化していく。

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

● 主な取組内容

○ 水害リスクが高い地域における理解促進の取組

水害リスク情報等を丁寧に伝え、水害の理解を深めるとともに、マイタイムラインを考える水防災講座を開催した。

○ 学校と連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の取組

小中学校の出前講座の要請を受け、学校側と相談しながら授業の内容を設定し、リスクコミュニケーションを行った。



井伊谷川水防災講座(R3.8.9)



中ノ町小学校出前講座(R3.7.13)

○ 中小河川破堤時の対応にかかる講演会・図上訓練等の開催

・令和元年東日本台風で中小河川の破堤災害を経験した栃木県や栃木県建設業協会に、被災時の対応等の講演を受けた(web開催)。



・テックフォースの協力を得て、破堤時対応の図上訓練を実施した。

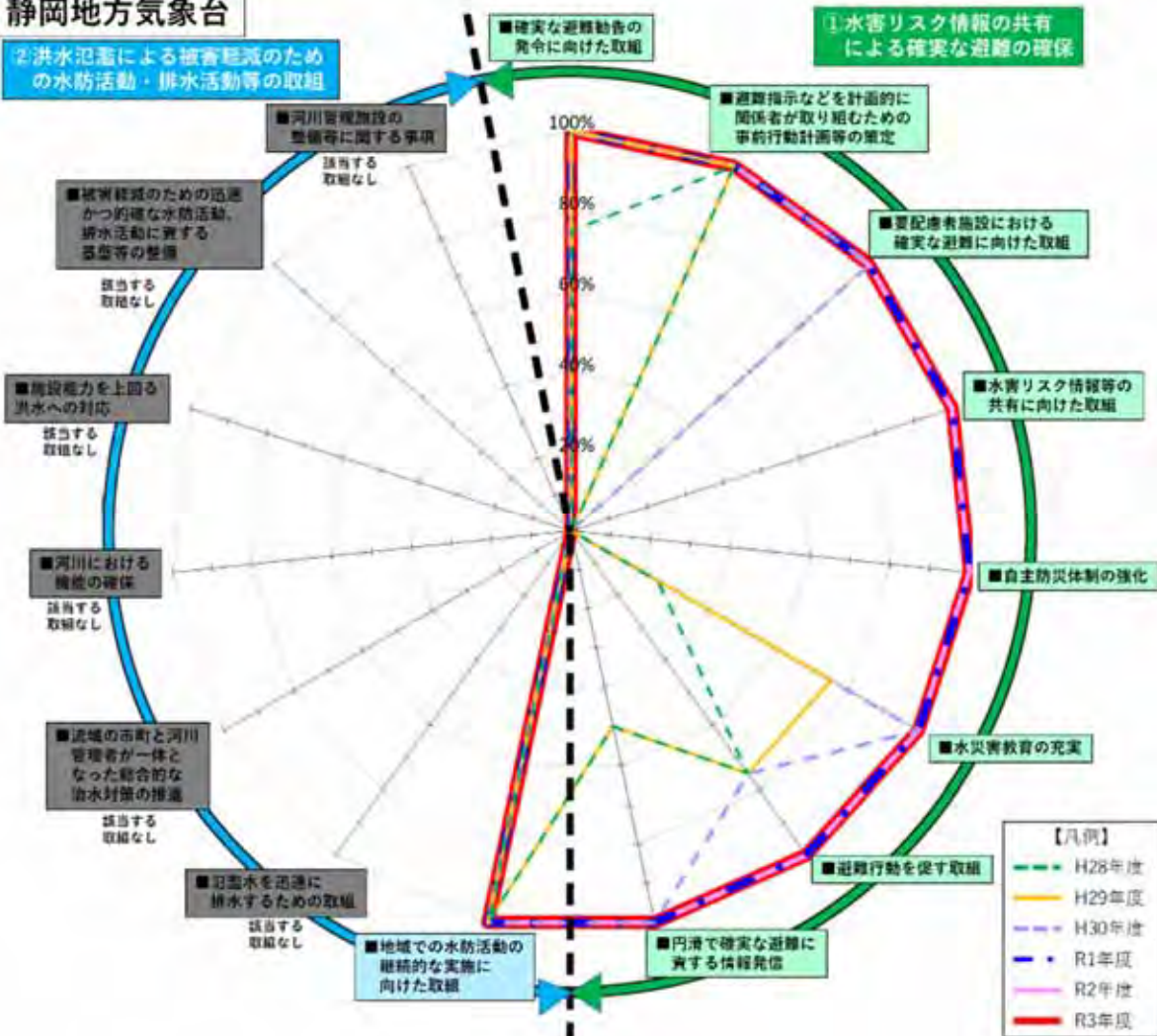


【静岡地方気象台】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

○水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は令和元年度時点で100%を達成し、令和3年度時点では、取組を継続して行っている。
 ○令和3年度は、学校や自治体に対し、出前講座や防災ワークショップを実施している。
 ○今後も、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方を継続実施していく。

取組の進捗率

静岡地方気象台



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性はある

●主な取組内容

○ 大雨ワークショップや出前講座の実施

気象情報の使い方等について、中学校では大雨ワークショップ、小学校では出前講座を実施している。



○ 防災ワークショップや出前講座の実施

自治体の防災担当者を対象に、防災ワークショップや出前講座を実施している。



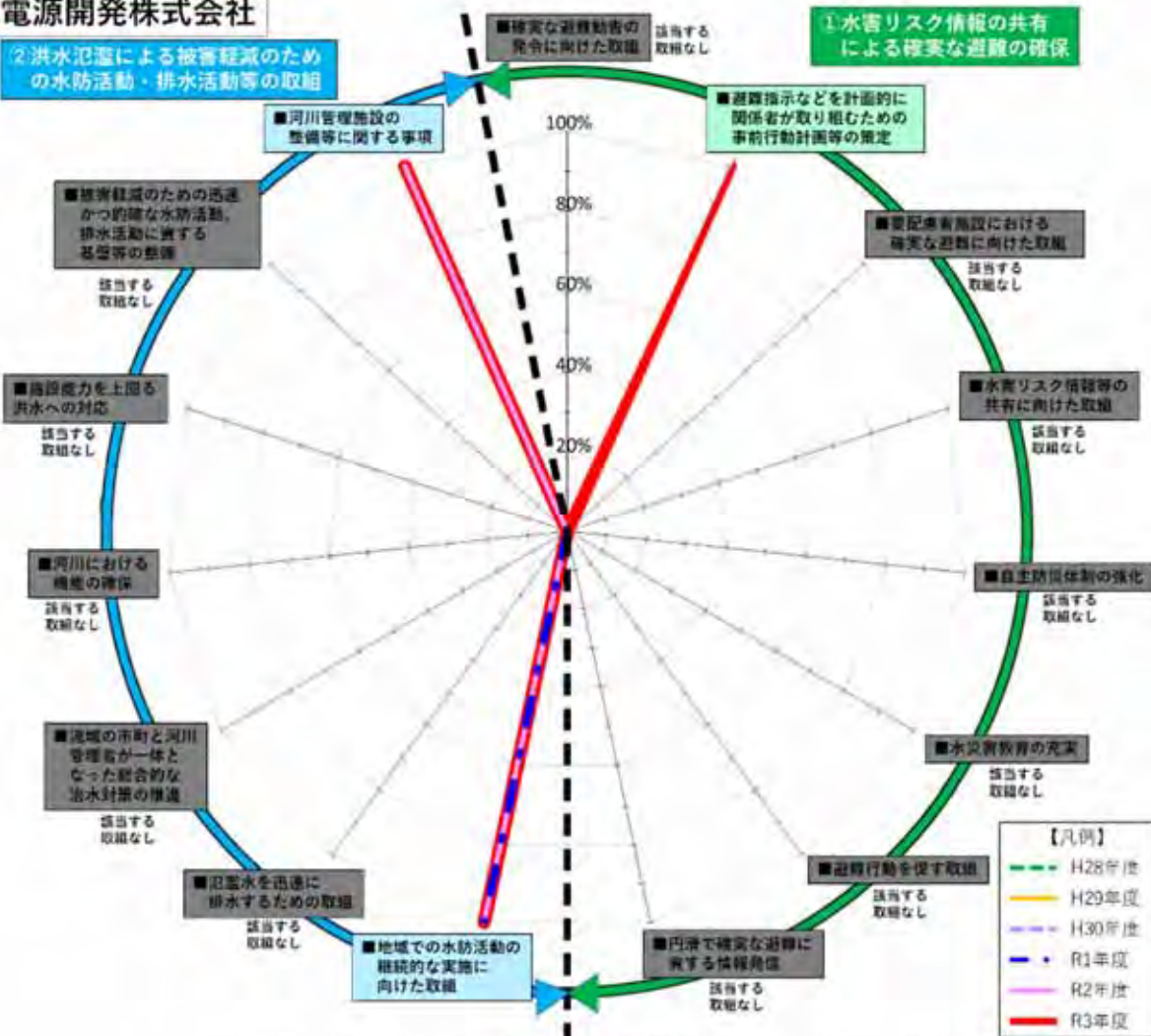
R1年度から参画しており、これまで下記の取り組みを実施した

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開
- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施
- 国土交通省が設置する天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会に参画
- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施

取組の進捗率

電源開発株式会社

②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組

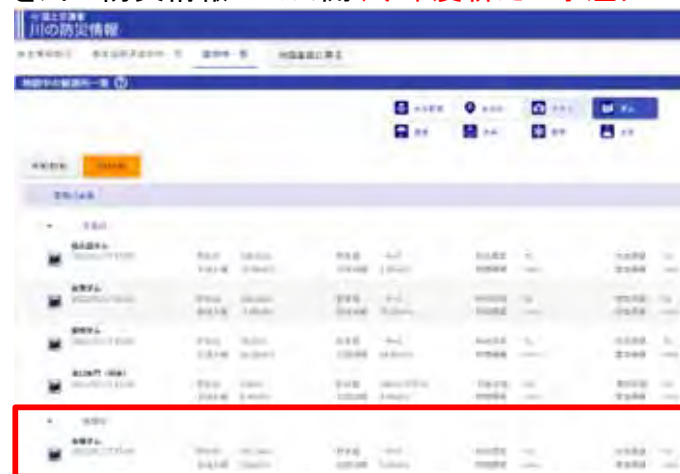


R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開(今年度新たに水窪ダムが公開)



○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施
- ＜令和3年度実績＞
- 実施日: 令和3年5月24日
- 参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員



(西川地区防災訓練)

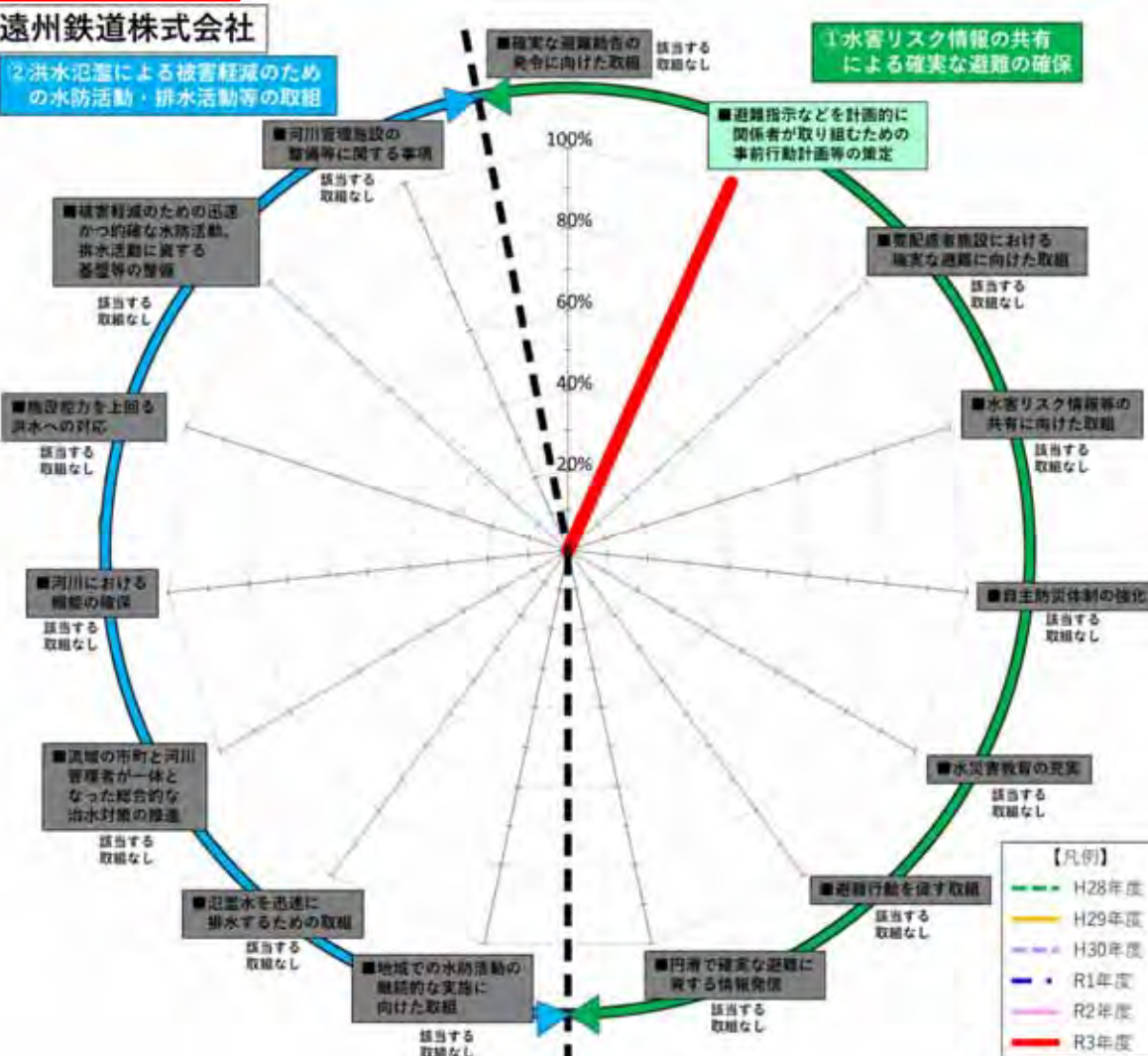
○ダムの柔軟な運用への協力

- 国土交通省が設置する天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会に参画
- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施(※事前放流の対象にはならず)

○浸水に対する過去の取組

- ①さぎの宮駅地下通路の浸水対策の実施
 - ・階段入り口部及び排水ポンプ電源部改良
- ②岩水寺駅構内施設の浸水対策の実施
 - ・信号設備の嵩上げ実施

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

○洪水氾濫を想定した行動計画の策定

- ①降雨量による運転規制及び運転中止基準の改訂
- ②運転中止取扱時の列車及び旅客の避難方法の策定

○各種訓練の実施

- ①令和3年5月25日
列車脱線復旧訓練及び旅客避難誘導訓練の実施
- ②令和3年11月5日
駅構内及び列車内の旅客に対して情報伝達訓練を実施

○浸水想定施設の把握

高架区間を除く鉄道線施設のうち、浸水想定区域をハザードマップより把握し、駅ごとに施設の選定を実施

【天竜浜名湖鉄道株式会社】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

関係間と連携し、防災に関する情報のホームページ掲載や駅掲示スペースの防災情報掲示の場として活用等を検討する。

●主な取組内容

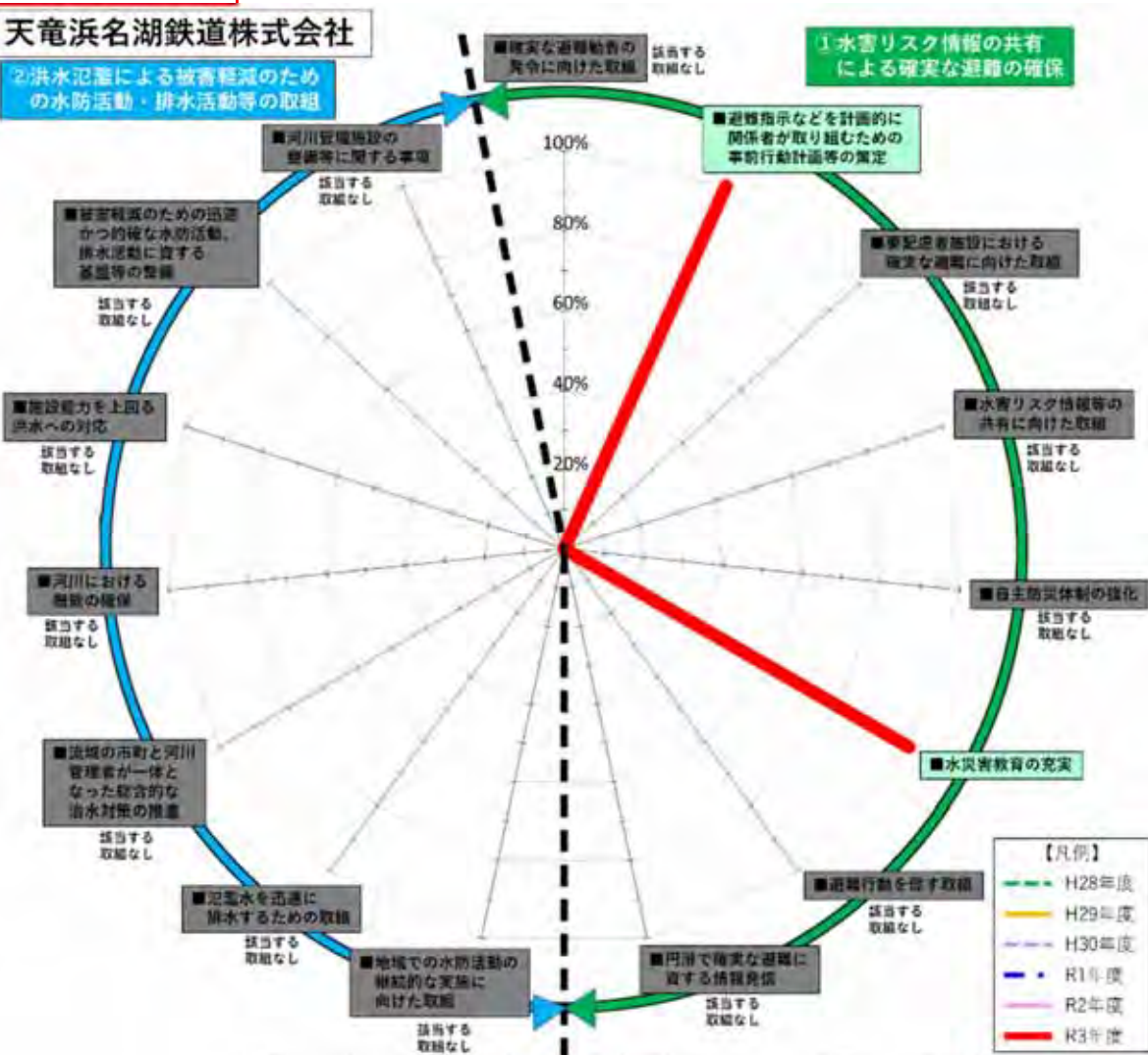
○确实かつ迅速な情報の提供と地域住民に避難の切迫性が確実に伝わる情報を提供

関係機関と連携し、自治体が発表する河川の氾濫等に係る情報やハザードマップ等の情報をホームページにリンク掲載を検討する。

○効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための啓発資料の作成

関係機関と連携し、駅の掲示スペース等に情報の掲示を検討する。

取組の進捗率

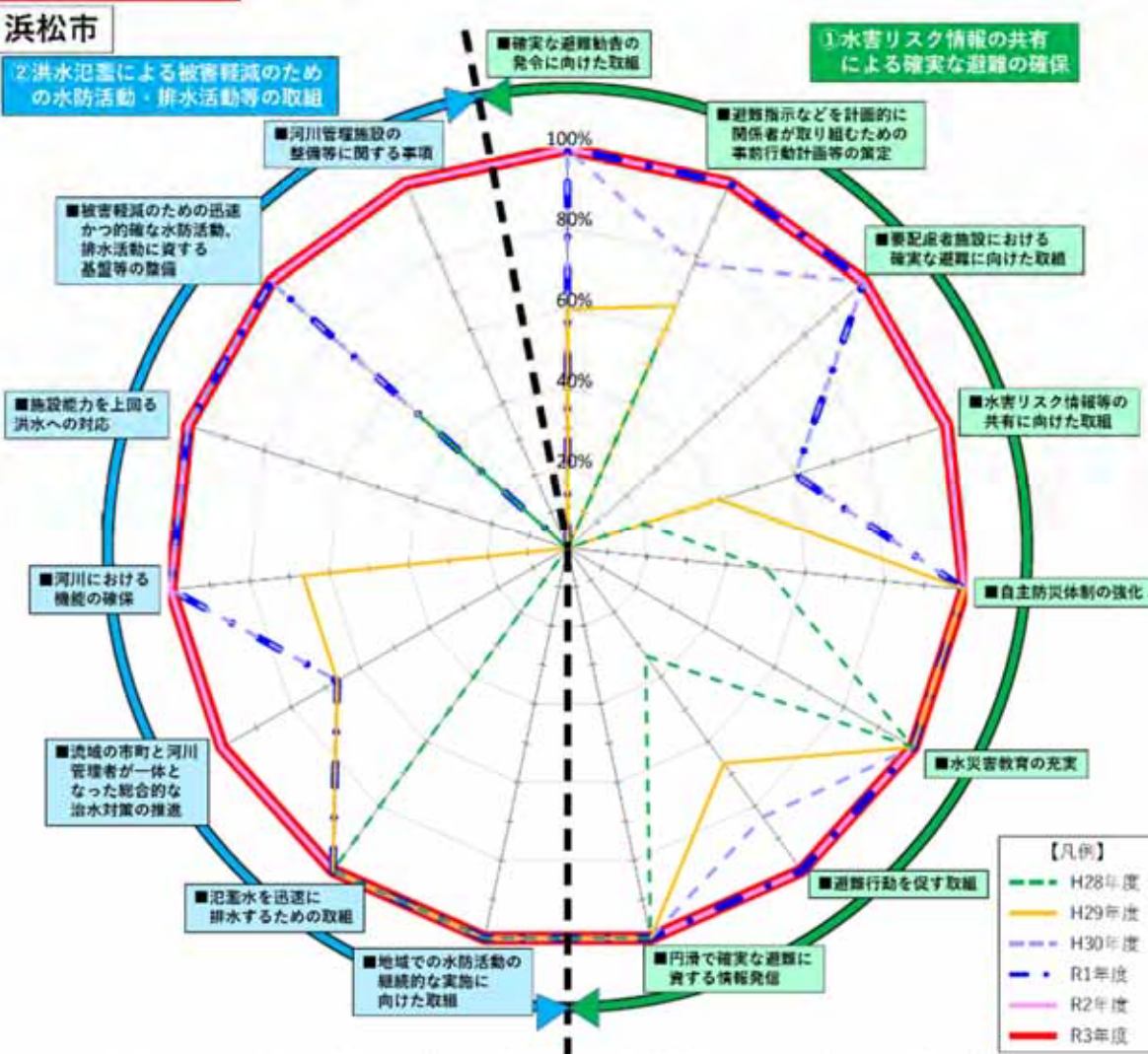


R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

【浜松市】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和3年度時点で100%を達成している。
- 令和元年度に「浜松市総合雨水対策計画」を策定し、効果的かつ戦略的な浸水対策を推進している。
- 今後も関係機関と連携を図り、取組を継続していく。

取組の進捗率



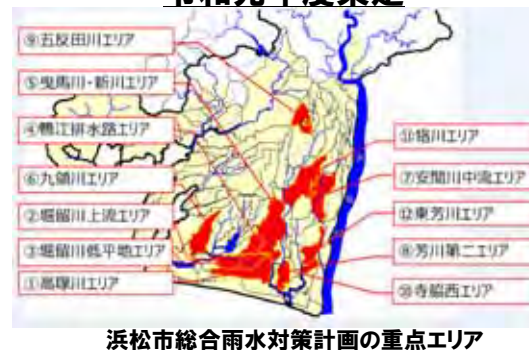
R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

○流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進

●「浜松市総合雨水対策計画」に基づき、効果的かつ戦略的な浸水対策を推進。

「浜松市総合雨水対策計画」 令和元年度策定



【計画に基づいた対策】

⑥九領川エリア
河道拡幅

○同報無線の再整備・情報伝達手段の多元化

デジタル同報無線の整備が完了し、令和3年10月にアナログ同報無線から完全移行した。また、同時に「浜松市公式LINE」を活用した避難情報の発信を開始した。

○自主防災意識の向上

水災害教育の一環として、浜松南高校において土のう作り講座を開催し、生徒が水防用の土のう235袋を作成した。作成した土のうは、近隣にある土のうステーションに運搬し、水害が発生した際に利用する。



【磐田市】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

○該当事案がある水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和2年度時点で100%を達成し、令和3年度時点で体制を維持し取組実施している。
 ○令和3年度は「水災害教育の充実」「自主防災体制の強化」「洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・配水活動等の取組」等に取り組んでいる。
 ○引き続き関係各課と連携を図り、大規模減災対策を継続実施していく。

●主な取組内容

○水防災教育の充実

●マイタイムライン作成講座等の実施

学校や交流センター、市民団体等に対してマイタイムライン作成講座等を実施した。（15回、延べ374人参加）



○自主防災体制の強化

●自治会長や自主防災会長向け研の修会の実施

出水期前の5～6月にかけて、自治会長や自主防災会長向けに、洪水時の避難情報や避難行動に関する研修会を実施した。

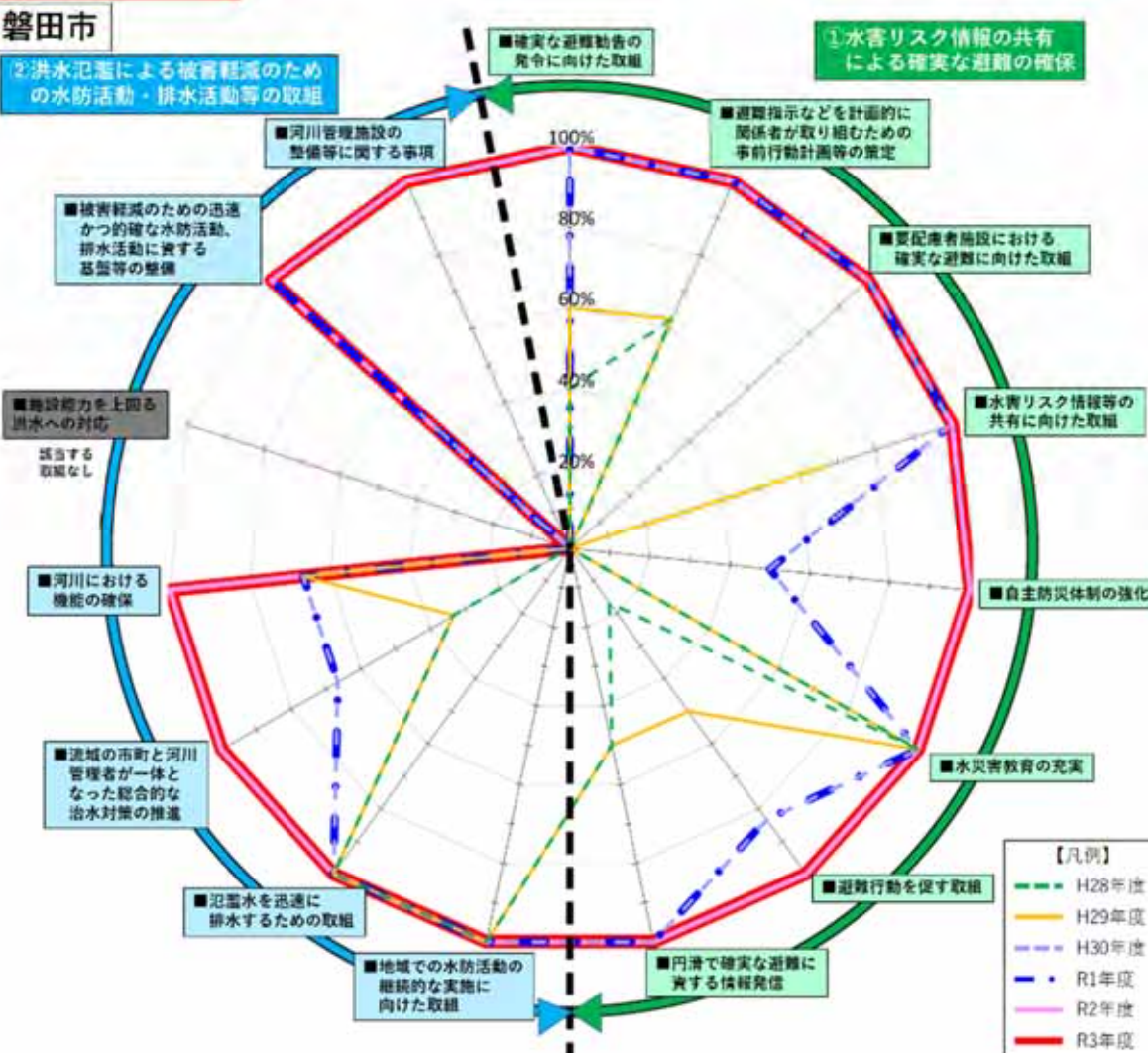
○洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・配水活動等の取組

●水防演習の実施

令和3年6月27日（日）に、天竜川河川敷において水防演習を実施、水防団や関連団体との連携を確認した。（計196名参加）



取組の進捗率

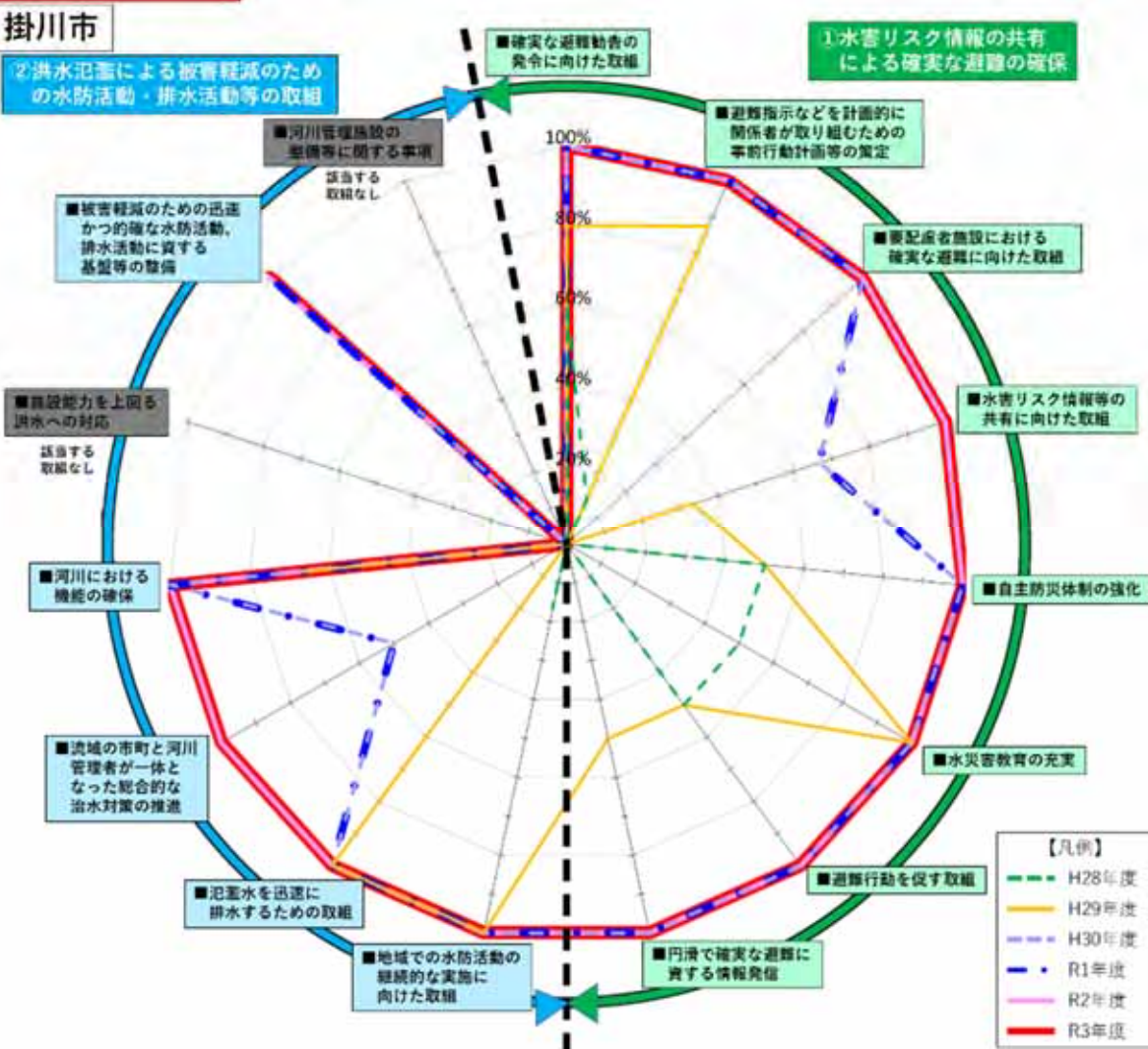


R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

【掛川市】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和2年度時点で100%を達成し、令和3年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 出前講座、防災リーダー養成の講座等を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る水災害教育に取り組んでいる。
- 防災メール・防災ラジオ等を活用した災害情報の取得を市民に周知し、円滑で確実な避難に資する情報発信に取り組んでいる。
- 今後も関係機関と連携を図り、効果的な対策を講じていく。

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

○タイムライン及び対応行動整理表に関する勉強会

国・県・掛川市の参加による勉強会を令和3年8月25日に実施。防災行動及び関係機関間の連携行動、役割分担と責任分担を確認。



○防災リーダー養成講座（初級編）を実施

令和3年8月、11月、12月、令和4年1月に地域防災力の向上を目的として、水害の発生原因や情報の収集、避難のタイミング等の講座を実施。



○水防団が水防工法訓練を実施

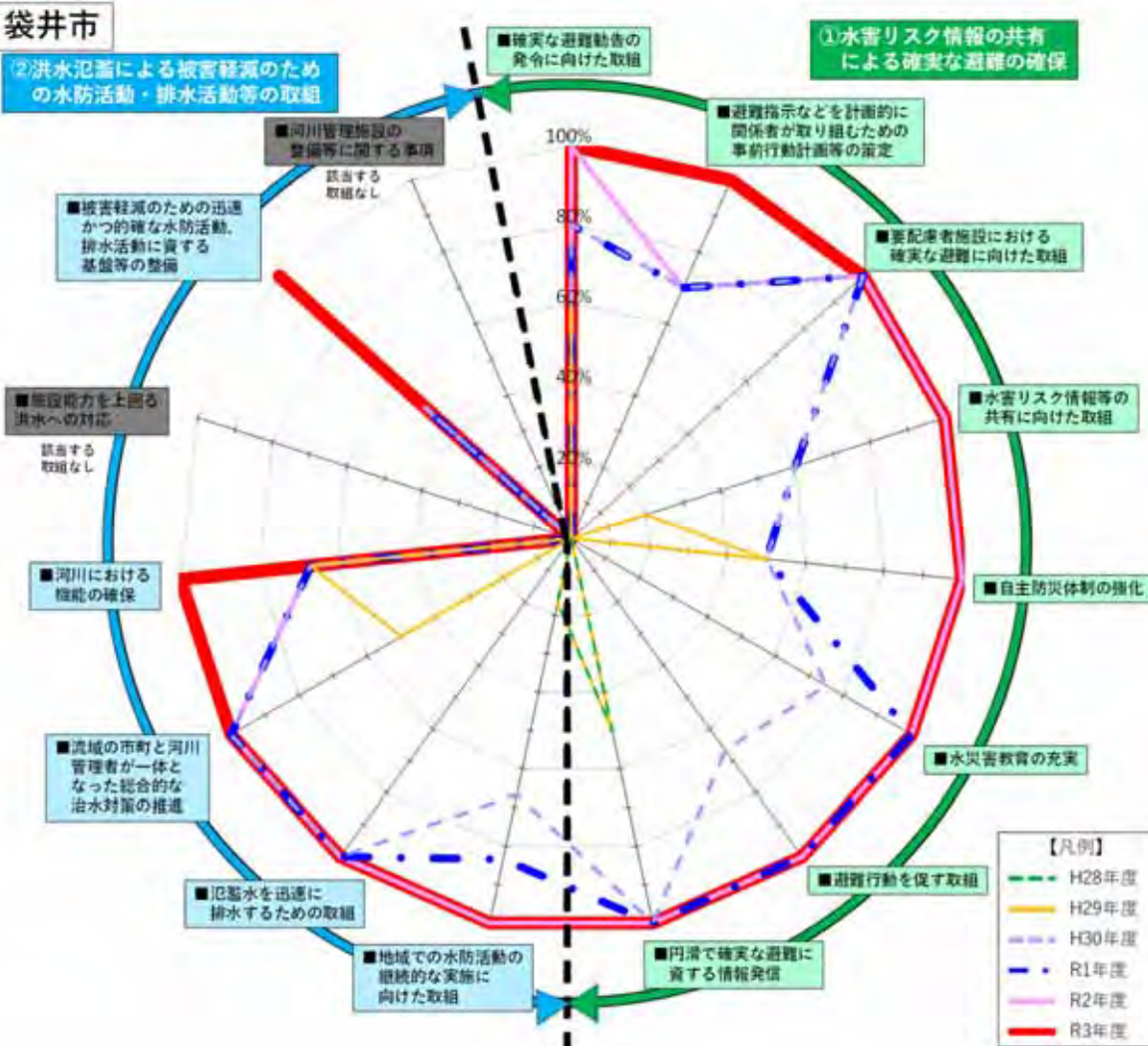
令和3年11月から令和4年1月の間で、土のうや水のうを使った家庭でできる水害対策をテーマにし、工法等を確認。



【袋井市】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく各取組について、令和3年度末時点ですべての項目で進捗率100%を達成している。
- 令和3年度は「円滑で確実な避難に資する情報発信」「水害リスク情報等の共有に向けた取組」等に取り組んでいる。
- 引き続き、現在の取組を推進していくとともに、過去に実施した取組についても、他の構成機関を参考に適宜見直しを行い、内容を充実させていく。

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性はある

●主な取組内容

○住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・普及活動の実施(円滑で確実な避難に資する情報発信)

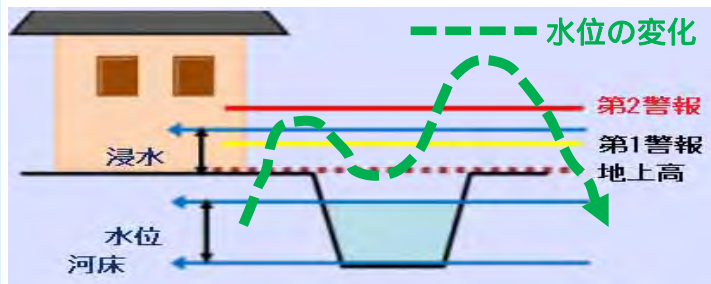
浸水常襲地域(村松、川井、小川町、諸井)に設置している浸水計の観測値が、各警報値(第1・第2)に達した場合に、市のメール配信サービス登録者に対し、その情報をメール及びLINEにより通知するサービスを開始した。

このサービスの開始により自ら観測情報を取得しなくても、住民の自主避難につなげるようプッシュ型で通知している。

※4箇所累計で5,400人が登録中(R4.1.1現在)

メール(LINE)配信内容

- ①第1警報まで水位上昇(高齢者等避難、車の移動)
- ②第1警報まで水位下降(注意は継続)
- ③第2警報まで水位上昇(危険な場所から全員避難)
- ④第2警報まで水位下降(警戒や避難は継続)



○水害リスク情報等の共有に向けた取組

住民への水害リスク情報の周知促進を図るため、GISを活用した「どまんなか袋井navi」に、市内の洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域等の情報を公開した。



【「どまんなか袋井navi」画面】



【袋井市洪水ハザードマップ】

【御前崎市】 取組報告 (H28 ~ R3年度までの取組内容)

○新野川が水位周知河川に指定されたため、洪水ハザードマップの作成や関係自治会並びに関係団体と協議を進めている。

また、洪水ハザードマップの説明会などを通して、関係する地元住民へ向け、水防に関する啓発活動を推進した。

●主な取組内容

○洪水ハザードマップの作成

今年度、新野川が県の水位周知河川に指定されたことに伴って、洪水ハザードマップの作成を行った。

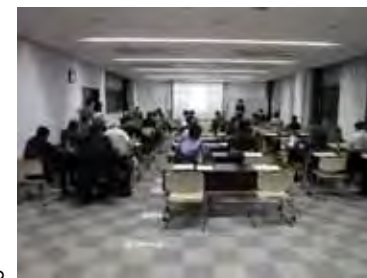
また、令和4年1月21日(金)に住民向けの説明会を開催し、浸水域で生活する住民の方や該当地区の役員の皆様へ周知を行った。



○地域における啓発活動

地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成のため、県主催の講座や各団体が実施する養成講座等への参加を促し、防災リーダー等の育成を図った。

また、各自治会や小学校等においても防災訓練の説明会や各種集会、防災講演等の中で、災害対策等の話と合わせて水防等について話を行い、自治会における意識の向上や市民の水防知識の取得を図った。



○防災用品に対する補助金の交付

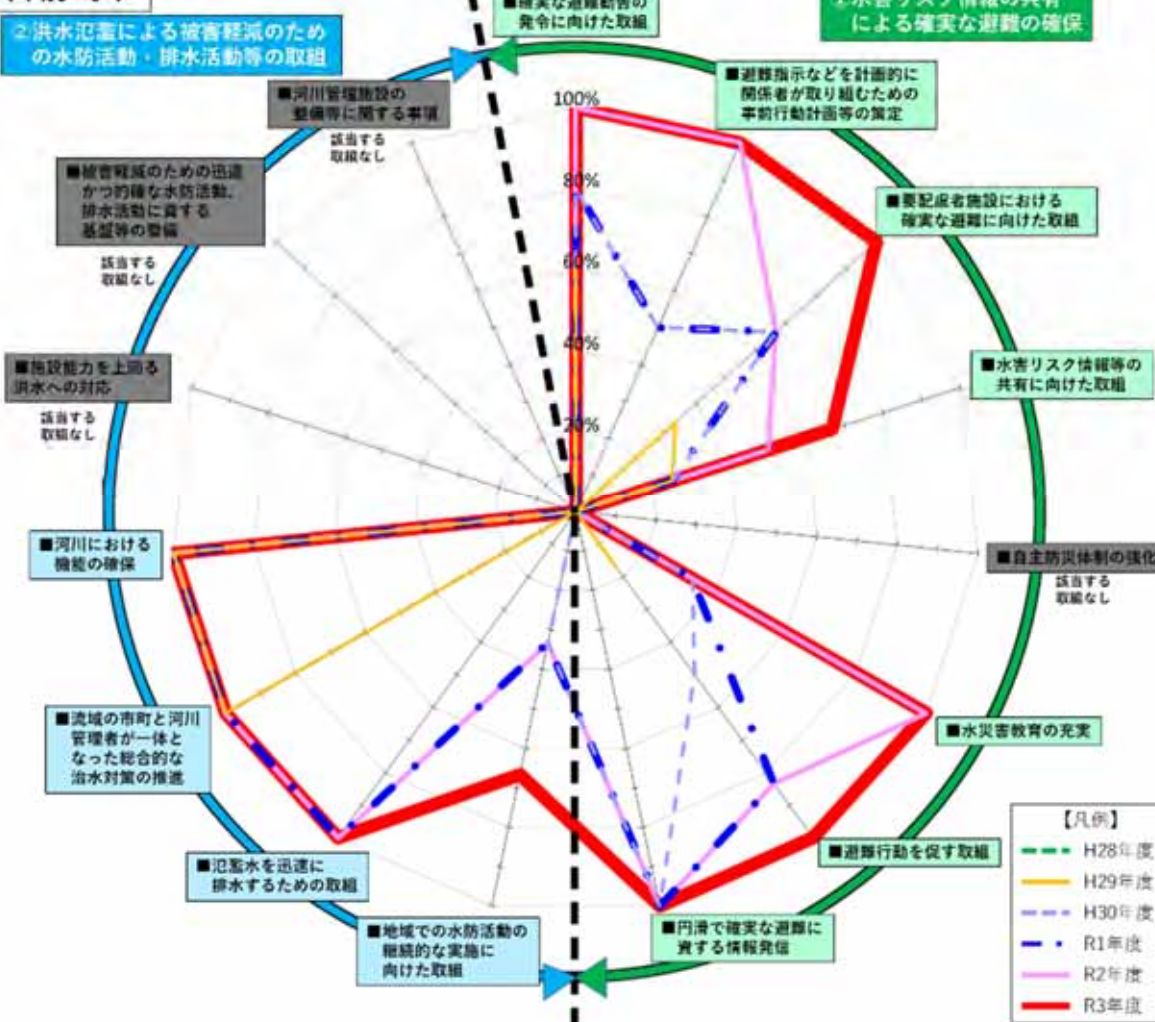
例年と同じく、地震や津波等の総合的な災害に対応するため、防災用品の購入費等に対して補助を行い、防災意識及び自助の意識の高揚を図った。

補助金制度の延長により、防災対策をサポート



取組の進捗率

御前崎市

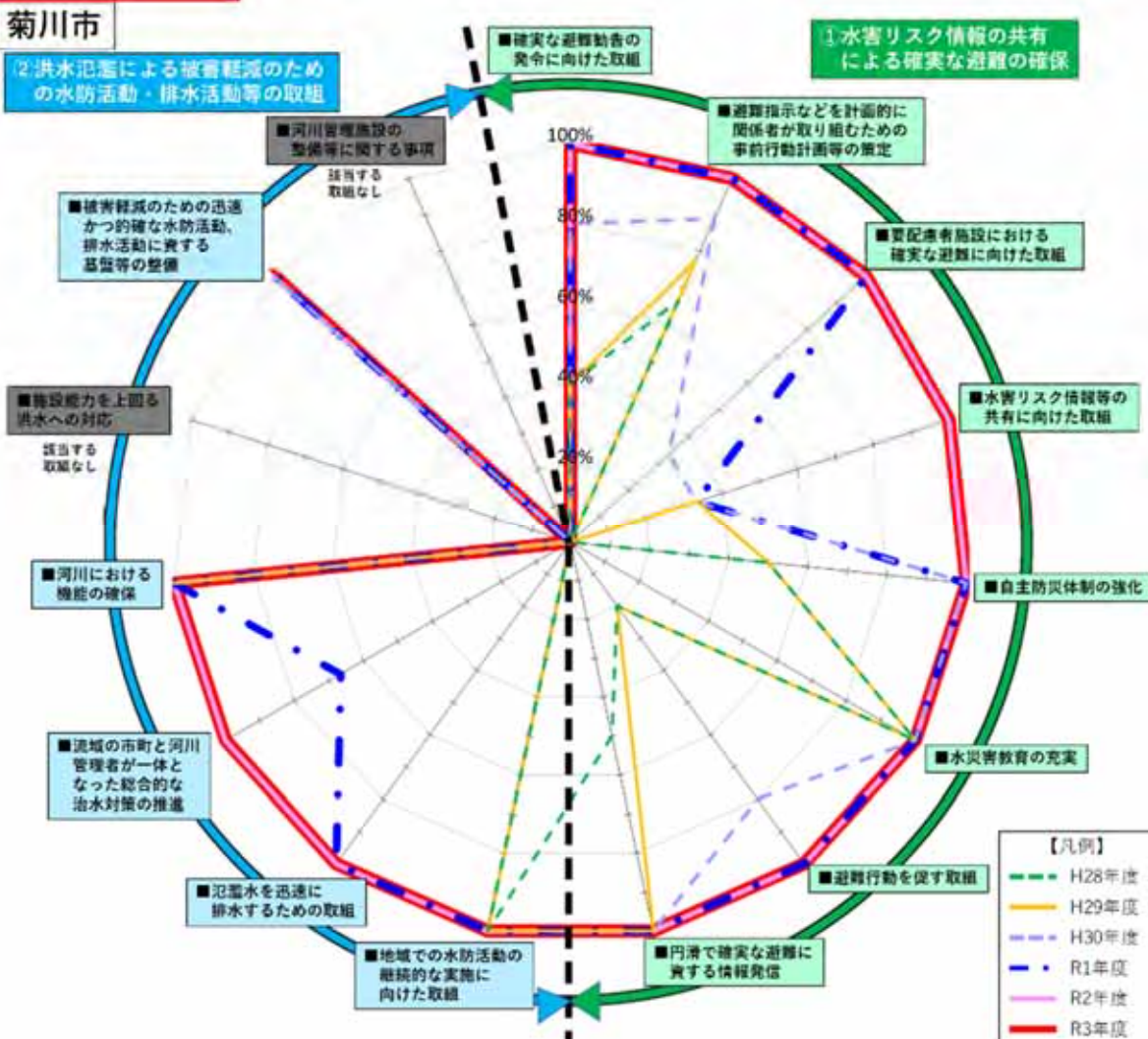


R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

【菊川市】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

○水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和2年度までに100%となっており、令和3年度についても体制を維持し取組実施している。
 ○令和3年度は、「ハザードマップの周知」「出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発、作成支援」「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援」等に取り組んでいる。
 ○今後は、関係機関との連携及び流域治水プロジェクトと連携した取組を継続実施していく。

取組の進捗率



R3年度時点の取組結果（予定含む）を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●主な取組内容

○令和3年6月 水防団との水防訓練を実施



○出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発、作成支援

令和2年度末の市ハザードマップの更新を踏まえ、出前講座等で幅広い年代の市民に対し、自宅等の水害リスクを再認識すると同時に、マイ・タイムラインの作成方法等の指導し、水害への防災意識向上を図るため、専門的な知識を持つ「防災士」と連携した普及啓発を実施。



ハザードマップ



マイタイムライン



子育て世代（親子）への出前講座

○要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援

対象施設の避難確保計画作成率は100%であるが、ハザードマップの更新に伴い、説明会を実施し避難確保計画の更新支援を行った。また、新規に開設した施設に対し、個別に説明・意見交換を行い、策定の支援を実施。

【森町】 取組報告（H28～R3年度までの取組内容）

○令和3年12月に、大規模地震を想定した、災害対策本部運営訓練等を実施した。
○令和3年度の主な防災対策としては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた、町の避難所運営ガイドラインを、地元代表者への説明会を実施した。
○準用河川の河道掘削の実施。

●主な取組内容

○令和3年2月14日

水防団活動も含めた次年度消防団幹部教養訓練を実施。



○令和3年7月4日

水防団による水防巡回
三倉地区内床上浸水被害調査



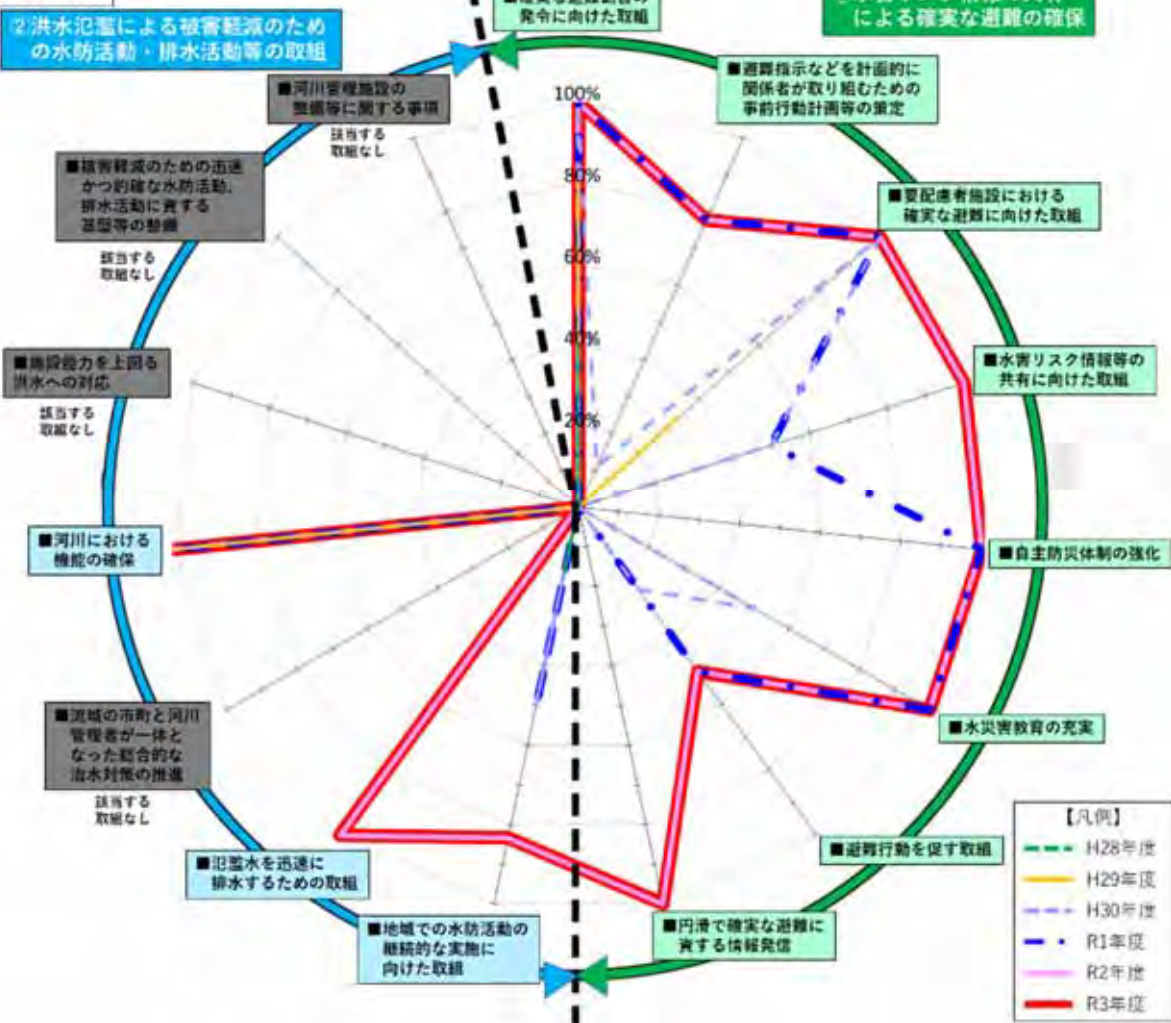
○令和3年8月20日

大雨による住宅への倒木被害調査を実施する水防団



取組の進捗率

森町



R3年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある